



# 京臨技会報

KYOTO ASSOCIATION OF MEDICAL TECHNOLOGISTS

発行所 (社)京都府臨床検査技師会

発行責任者 今井 秀一

編集者 白波瀬 浩幸

〒606-8395 京都市左京区

東丸太町9-1 マンパワービル 3F

TEL・FAX 075-752-5090

E.mail : mbox2@kyoto-amt.js-md.net



## ■□■ CONTENTS ■□■

TOP	◆ 第49回近畿医学検査学会
CONTRIBUTION	◆ OBの検査室訪問 ～宇治川病院～
REPORT	◆ 第3回京都細胞診ワークショップ
REPORT	◆ 研修会報告(北部学術・生理・血液・一般・輸血)
PROCEEDINGS	◆ 理事会議事録(第1回、第2回)

## 第49回近畿医学検査学会

平成21年11月28日(土)・29日(日)

『みやこめっせ』で開催

平成21年11月28日(土)・29日(日)の両日に、京都市勧業館『みやこめっせ』において第49回近畿医学検査学会を第52回日本臨床検査医学会近畿支部総会および第29回日本衛生検査所協会近畿支部学術研究発表会と同日開催いたします。

8月7日の理事会(第1回運営委員会)において、今回のテーマを『見方が変わると、仕事が変わる ～臨床目線で検査をみる～』(仮題)といたしました。このテーマの意図は、疾患を中心に据え多角的な視野で臨床検査をみることによって、日常の検査業務にプラスアルファの何かを足すことができないかを考えることです。学会に参加していただいた皆様がそれぞれの仕事場において、「明日から実践できる何か」、「臨床貢献に繋がる何か」を持ち帰っていただける、そんな学会にしたいと考えています。

9月に第49回近畿医学検査学会実行委員会を立ち上げて、特別講演や特別企画などの内容を詰めていきたいと考えています。学会企画案の提案や一緒に参加いただける方は、事務所までご連絡いただくか、知り合いの理事または班長に声をかけてください。会員みなさまの協力をもって、総力で学会の成功に向けて取り組む決意です。何卒、ご協力いただきますようお願いいたします。

## 第49回近畿医学検査学会

開催日時	平成21年11月28日(土)・29日(日)
開催場所	京都市勧業館「みやこめっせ」(京都市左京区岡崎成勝寺町9番地1)
学会テーマ	「見方が変わると、仕事が変わる ～臨床目線で検査をみる～」(仮題)
学会長	今井秀一 (綾部市立病院)
実行委員長	白波瀬浩幸 (京都大学医学部附属病院)
副実行委員長	芦田英之 (京都第二赤十字病院)
事務局長	石澤衛 (京都府立医科大学附属病院)

# OBの検査室訪問

京都府臨床検査技師会 顧問 清井 健司

第1回目の訪問は

## 宇治川病院 です

はじめに

私こと清井は、昨年8月末に定年を迎えました。40年弱の勤続を終えて、これからはフリーの時間が山ほどあります。それで、長年技師会の役員をしてきたので、このまま技師会を離れるのは寂しい、なにか技師会に協力できることは無いかと考え、この企画を思いつきました。これから少しずつ検査室を訪問して同じ技師の思いや要望を取り上げてみたいと思います。乞うご期待！！



市南部国道24号線沿いに、徳州会・さいわい・宇治川と病院が・・・

3月28日車で京阪鳥羽街道駅から、国道24号線を南に向かい約30分ほどすると目的の宇治川病院が見えてきた。当院は一般病床数179床（内10床が透析）の小規模から中規模病院である。病院裏のガレージに車を停めて、玄関に入ると入り口すぐ左手に「運動療法室」があった。ここでは地域の人たちが、トレーナーの指導で運動療法を施されていた。ここでは臨床検査技師が、心電図と心肺運動負荷試験を担当しており、ちなみにこの責任者は（検査室）技師長であった。

検査室は1階と2階にあり、2階の検査室は放射線部と廊下を隔てて向かい合っています。多分、患者様の動線を考えてのことであろう。検査室は技師長を含めて3名で、他に検査センターから検体処理で1名が常駐しています。検体検査は、一日3回の検体回収で委託されており、その3便以外の時間帯の緊急検査を院内実施で報告されています。院内検査は、一般検査、輸血検査、化学検査を実施しています。化学検査はウェットとドライの機器の併用で実施されています。ここが精度管理上はすこし気になる場所でした。血液検査は、CBCは院内で、白血球分類は外注にしています。外部精度管理は、日臨技、日医、京臨技、府医師会と実施されています。

MR Iは放射線技師と両方で・・・

生理検査は、心電図・エコー検査・血管エコーなどを実施しています。ユニークなのはMR I検査を放射線技師と臨床検査技師が相互乗り入れしている点です。放射線室は2名です。小規模病院（失礼）では大病院と違い小回りが利かなくてはなりません。お互いに職種の壁を越えて協力している点が印象的でした。

技師長の直属上司は院長！

日常の運営では、検体管理委員会（院長・副院長・技師長）がありますが通常は毎日院長と接しているので、やりとりは直接するとの事でした。大病院のように、現場→事務→管理とい



うステップはないということでした。

今年の検査室の方針はと質問したら、現状維持ですと答えが返ってきて、「少し物足りなさ」を感じたのは同行した人（会員検査技師）も同様でした。特に病院や他の職種からも不満や要望は出されていないとのことでした。少人数で検査全般をこなしているの「そんなものかなあ」という感じでした。



## 技師会への要望は??

約1時間のやりとりになり最後に技師会への要望はとたずねたら、開口1番「千葉県のホームページはいいですねえ」と返事が返ってきました。理事の皆さん京臨技のホームページを比較してみてください。

要望は、南部地域で勉強会を実施してほしい。ホームページに勉強会のレジメや資料を添付してもらえればありがたい。などを聞きました。どれも即答を出来ないのので理事会へ提案するというので返事をしました。こちらからは、南部の病院検査室の交流をできるような「しかけ」を一緒に考えましょうという話をして、訪問を終えました。

## 訪問を終えて

この病院は救急受け入れをしている病院なので検体検査も全面委託はしてなくて、病院側も検査室の運営に協力的であるとのことでした。少ない人員でも呼び出しで時間外も対応しているし、輸血検査にも応えています。MRIにも積極的に参加しています。一方、勉強会にはなかなか参加しにくいとの声は「現場の生の声」として耳をかたむけなければならないが、技師会が何を出来るかと思いを巡らしました。



## REPORT

## 研修会報告

### ●●● 北部学術 08-017

日時：平成20年7月18日 金曜日 19:00～20:00

会場：舞鶴市西駅交流センター

主題：緊急時の心電図判読

講師所属：株式会社フクダ電子

講師名：柄本敦典

分類：専門-51-生理検査 20点

共催等：協賛=株式会社フクダ電子

全体参加人数：39人

京臨技会員参加人数：33人

会員参加人数 33人

仮会員参加人数 0人

非会員参加人数 6人

緊急時に必要な心電図判読のポイントを、実際に波形を見ながら解説であった。

心電図も徐脈性不整脈、頻脈性不整脈、虚血性心電図変化の3つの内容での講演であったが、時間に限りがあり虚血の話が一部しか聞けなかったのが悔やまれるところである。

大変多くの参加者があり、参加者それぞれが今後の業務に役立てていけないようであったと思われる。

今後このような会を行う機会があれば、講義内容をもう少し絞り、複数回に分けて開催した方がより内容の理解が出来ると考えられた。

平成20年7月31日

報告者 小畑義規（舞鶴共済病院）

## REPORT

## 研修会報告

## 第3回京都細胞診ワークショップ

名嘉 正勝 (N.H.O 南京都病院)

講師：清水 恵子 (大阪府済生会野江病院)  
 タイトル：構造異型を加味した子宮内膜細胞診  
 日時：H20年6月21日(土) 13:00～17:00  
 於：京都保険衛生専門学校  
 参加人数：32名

子宮内膜細胞診の正診率向上のために構造異型を加味した判定基準が一般に用いられつつあるが、現状では問題点がある。その問題点を克服する糸口と精度向上に向けての取り組みを、済生会野江病院で実際採用している方法を例に講義と症例標本の鏡検実習を行いました。

## 講義内容

- 1: 構造異型を加味した内膜細胞診の実際
- 2: 無排卵性周期に伴うホルモン不均衡内膜の細胞像
- 3: 細胞質変化(化生)の細胞像
- 4: 内膜細胞診診断システムの構築に向けて

○ 講義の前に基準として、増殖期内膜、単純型内膜増殖症、複雑型内膜増殖症、類内膜腺癌(G1)(乳頭状、Cribriform パターン)について組織像と細胞像を提示

## 1. 構造異型を加味した内膜細胞診の実際

判定基準 & 判定方法 (集塊形状における種類・特徴の把握)

## ※ 集塊(腺管)の形状について

- ・ 幅が同じで間質細胞の付着があれば正常内膜である
- ・ 幅の不整があるのは内膜増殖症以上を考える
- ・ 幅の不整があり、間質細胞が付着していれば内膜増殖症を考える
- ・ 幅の不整があり、間質細胞の付着がなく、腺腔構造が20個以下なら内膜増殖症、腺腔構造が21個以上あれば類内膜腺癌を考える。

## ※ 臨床とのコンセンサスについて (内膜増殖症について)

- ・ 疑陽性とする範囲：内膜増殖症を疑陽性と判定する

- ・ 細胞診では細分類(型分類)はせず一括して増殖症として扱う
- ・ 判定に適さない標本の基準：細胞集塊数10個未満、ただし組織様の大型集塊は10個未満でも判定可とする
- ・ 不適標本を減らすには採取器具の洗浄が有効である

## ※ 検体処理法

採取器具：エンドサイト、ウテロブラシ、エンドサーチなどで採取

塗抹方法：直接塗抹を行い、後に採取器具の洗浄標本作製する

洗浄標本作製法：RPMI液「SIGMA社, RPMI-1640, MEDIUM, R8758」にて洗浄し、サイトスピン2000rpm 2分間遠心し標本作製

## ※ 判定基準 (出現頻度・出現数の把握)

- ・ 標本上の集塊の全体像を観察し、形状を把握する
- ・ 病理学的裏付けが得られた症例の異常集塊出現数及び占有率を検討し、以後の診断基準とする。

## ※ 判定基準 (済生会野江病院使用)

- ・ 陰性：異常細胞集塊出現数9個以下または占有率10%未満
- ・ 疑陽性：異常細胞集塊出現数10個以上または占有率10%以上
- ・ 陽性：異常細胞集塊出現数10個以上または占有率70%以上

実際の進め方：対物4倍で観察し可能性のある病変を絞込み、矛盾点の有無を確認する



## 2. 無排卵性周期に伴うホルモン不均衡内膜の細胞像

※ 機能性子宮出血：子宮出血のうち月経、妊娠、器質的疾患による不正出血を除いた出血。(排卵性、無排卵性)

※ 無排卵性子宮出血の病理像

- ・ 内膜腺間質破綻 (不全増殖内膜) 「びまん性変化」 EGBD (Endometrial Glandular and Stromal Breakdown)
- ・ 不規則増殖内膜 (不調増殖内膜) 「局所性変化」 DPP (Disordered Proliferative Phase)

○細胞診判定は、陰性(非増殖症、非癌)の診断で充分

※ 無排卵性子宮出血

- ・ 排卵が障害され成熟卵胞が存続し、黄体が形成されないと内膜は増殖するが分泌期にならない。その後エストロゲンの消退出血または長期持続後破綻出血が起こる。内膜は成熟せず断片化する。(EGBD)
- ・ 組織像は、内膜組織の断片化、腺管は増殖期様で間質細胞は凝集する。
- ・ それぞれの割合やパターンによって以下の様に記述されることがある。PPB (Proliferative Phase with Breakdown)、DPP (Disordered Proliferative Phase)、FGC (Focal Glandular Crowding)

※ ホルモン不均衡内膜のまとめ

- ・ 全症例で不正性器出血を認めた
- ・ Breakdown 症例：間質細胞凝集像が著明で腺管の断片化を伴う
- ・ 化生性変化を異常細胞集塊と判定していた症例が存在した
- ・ 殆どの症例で再検時異常細胞集塊が消失した
- ・ Disordered 症例：細胞像は単純型増殖症と同様であった
- ・ EGBD 症例 Follow up の結果、EH や G1 に進化した症例は認めなかった。

## 3. 細胞質変化(化生)の細胞像

※ 子宮内膜に生じる細胞質変化 (化生)

- ・ 扁平上皮化生・桑実状化生、表層合胞状化生 / 乳頭状化生、線毛上皮化生 (卵管上皮化生)、好酸性化生、粘液性化生、明細胞化生などがある

※ 化生変化は、それ自体が増殖症や癌との鑑別を要する。又、機能性変化、増殖症、癌のいずれにも出現しうる。増殖症や癌の診断は化生部分を除いて行う。

※ 好酸性(化生)変化(Eosinophilic Change)

- ・ 最も一般的な細胞変化で、線毛化生、扁平上皮化生、好酸性顆粒細胞、乳頭状、表層合胞状性変化では全て好酸性の細胞質を有する
- ・ 細胞診では、細胞質がエオジン好性に染色される

ことは稀である

- ・ 細胞の形状について：円柱形は異型増殖症、癌に関連。類円形は線毛細胞に関連。多角形や敷石状は扁平上皮に関連がある
- ・ 好酸性化生細胞の出現率：EGBD に有意に出現
- ・ 好酸性化生は異型細胞と捕らえがちで過剰判定の要因となり、正診率を低下させる

※ 好酸性化生細胞と他病変の核面積の比較

- ・ 好酸性化生細胞 (EGBD 例) と正常増殖期内膜例、内膜増殖症例の間には有意差が見られ、高分化型腺癌 G1 症例との間には有意差は見られない
- ・ 好酸性化生細胞(EGBD 例)と高分化型腺癌 G1 は背景、結合性、重積性に違いがあり、それらが鑑別点となりえる
- ・ 好酸性化生細胞(EGBD 例): 背景は、フィブリン、断片化腺管が多く、結合性は強く、重積性は規則的である
- ・ 高分化型腺癌 G1: 背景は、壊死性で孤在細胞が多く、結合性は弱く、不規則な重積性を示す
- ・ 最大の鑑別点は、弱拡大での集塊形状や細胞結合性の強弱にある

※ 好酸性変化(化生)細胞の特徴

- ・ 好酸性細胞を伴う細胞は、線毛細胞変化や乳頭状増殖を伴うことが多く、細胞集塊の辺縁は概ね滑らかで、細胞間の結合性の強さを反映していると思われる
- ・ 背景の孤在性細胞の出現は稀である

## 4. 内膜細胞診診断システムの構築に向けて

子宮内膜細胞診診断システム構築に向けて、客観的で再現性の高い診断基準を確立し、古典的なクラス分類による内膜細胞診の結果報告を廃し、多施設間で細胞診の感度、特異度の算出が可能な精度管理に適した記述式内膜細胞診報告様式を用いることにより内膜細胞診の診断精度の向上が図られると思われる。

上記の内容で講義が行われ、その後講義内容に沿った症例標本の鏡検実習が行われました。講師の清水恵子先生に置かれましては、日頃より子宮内膜細胞診の精度向上に向けて、色々な検討をなされ、細胞診学会の発展のために貢献しておられ、そして今回は、京都府臨床検査技師会、細胞検査士会のために講師を引き受けて下さいまして大変有難うございました。大半の方が内膜細胞診は苦手意識が有ると思われませんが、新しい知識も交え客観的に分かりやすく順を追って説明して頂き、とても勉強になりました。また、多数の症例を提供して頂き有難うございました。今回勉強したことを今後のルーチンに生かして行きたいと思えます。

## REPORT

## 研修会報告

## ●●● 生理 08-003

主題：心電図研修会

副題：心電図の読み方（初級、中級編）

講師：増田 信弥 技師

日時：平成20年6月21日（土）15:00～17:00

場所：京都保健衛生専門学校

講師所属：京都民医連中央病院

分類：臨床生理 専門051（生体検査） 20点

全体参加人数：61人

京臨技会員参加人数：44人

仮会員：11人

非会員：6人

以下、講演内容など

今回の心電図研修会では、『心電図の読み方』初級～中級編ということで、昨年に引き続き、増田先生

に講義をしていただきました。

昨年に比べ、参加人数が60名になり大盛況でした。

内容は

- ・心電図の標準化
- ・きれいな心電図をとるためには
- ・波形の意味するもの

など、基本的なことに対しポイントをしばってお話をさせていただきました。

後半には、参加者の希望により症例を用いての講義をしていただきました。

参加者は、前半に聞いたことを復習しながら真剣に講義を受けていました。

心電図がしっかり基礎から学ぶことは非常に大事で、このような研修会を増やしていくべきであると思います。

平成20年07月06日 報告

報告者：米澤 英伸（京都民医連中央病院）

## ●●● 生理 08-009

日時：2008年7月12日（土曜日）15:00～16:30

会場：京都保健衛生専門学校

主題：『 COPD の病態と呼吸機能検査 』

講師：福岡 篤彦先生（吉野町国民健康保険吉野病院 内科）

- ・COPD とは
- ・日本呼吸器学会が定める COPD の診断と治療のためのガイドラインの紹介
- ・COPD の病歴や身体所見
- ・COPD の呼吸機能

実際に臨床に携わっている医師より COPD 患者の身体的特徴や病態・検査所見の判読などのお話の後、最近の治療法の紹介とその後の呼吸機能の経過観察の報告がされました。

興味深かったのは COPD と栄養障害との関係で、COPD 患者の運動能力や筋肉量が減っていることに注目し、栄養治療をしっかりと行うことで COPD も改善していくことから COPD は呼吸器だけでなく全身症としての考え方が広まっているとの事でした。

平成20年7月26日 報告

報告者 北野 智美（京都第二赤十字病院）



## ●●● 血液 08-004

行事名：血液凝固講演会

日時：平成20年6月14日（土）14:00～17:00

会場：ホテル京阪京都

主題1：Case Study 6

講師所属1：京都民医連中央病院

講師名1：林 美知子

主題2：血栓症と最新の情報－分子マーカーや最新の抗凝固薬について－

講師所属2：静岡県西部浜松医療センター

講師名2：小林 隆夫

分類：専門－検体検査－20

協賛：ロシュ・ダイアグノステクス

全体参加人数：61人

会員参加人数：47人（他府県技師会参加者12人含む）

賛助会員人数：13人

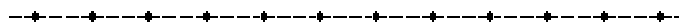
仮会員人数：1人

Case Study 6では、悪性リンパ腫2例の紹介をされた。DLBCLの診断がついているが、形態的には違う。検査の進め方、追加検査や診療科へのアナウンスについて学習した。静岡県西部浜松医療センターの小林先生は、血栓症と最新の情報として、分子マーカーや最新の抗凝固薬について講演された。深部静脈血栓症や肺血栓塞栓症の頻度や部位について紹介された。外科、産婦人科、整形外科、麻酔科でのDVT、PEについて述べられ、FMC、Dダイマー等についての活用方法を説明された。

Dダイマーは除外診断として重要であることと血栓の予知として、将来使われるであろうAPC（活性化プロテインC）感受性比を紹介された。抗凝固薬についても、未分画ヘパリン、ワルファリン、低分子量ヘパリン、Xa阻害薬、トロンビン阻害薬も凝固カスケードを使いながら作用点を説明された。今後将来に向けて、非常に貴重な講演を聴くことが出来た。

平成20年6月27日

報告者：志賀 修一（京都大学医学部附属病院）



## ●●● 臨床化学 08-010

日時：平成20年06月24日（火）18:30～20:30

会場：京都保健衛生専門学校 視聴覚教室

主題：演題①「LIA法及びTIA法の基礎と応用」

演題②「よくわかる血清情報、二波長側光および2ポイント法」

講師所属：①栄研化学株式会社 ②株式会社ファルコバイオシステムズ

講師名：①佐久間 誠 ②藤本 一満

分類：臨床化学専門4－検体検査52－20点

共催等：栄研化学株式会社

全体参加人数：35人

京臨技会員参加人数：19人

仮会員：2人

学生：4人

は、生化学用の自動分析装置への適用が進んでいる。また、ラテックス合成技術や抗体製法の技術力向上によりナノグラムレベルの検出感度を実現し、酵素免疫法（EIA法）に迫る高感度化が可能となった。今回は、LIA法・TIA法の基礎と両者の長所・短所、影響と注意点についての説明があった。

②A.生化学自動分析装置を用いた検査において、多くの施設で血清情報（混濁度・溶血度・黄色度）を測定し、補助的数値として報告あるいは検査値の補正係数として使用していると思われる。そこで、血清情報算出法および使用法について説明があった。

B.二波長測光の設定の仕方および2ポイント法の方法と計算法について説明があり、練習問題を解く内容で学生時代を思い出す和やかな雰囲気で大変有意義な講演内容であった。

平成20年06月30日

報告者：飯田 一博（株式会社 いかかく）

①ラテックス凝集反応（LIA法）を原理とする検査は、従来専用の分析装置を必要としていたが、近年で

## ●●● 一般 08-011

行事名：一般検査分野 研修会

日時：平成20年6月28日（土）14:00～16:00

会場：京都保健衛生専門学校

主題：一般検査分野 研修会

副題：一般検査基礎講座1 「尿定性検査の基礎」

講師所属：和光純薬工業株式会社

講師名：松田 英子氏

分類：8—一般 52検体検査 20点

協賛：和光純薬工業株式会社（講師派遣）

全体参加人数：31人

会員参加人数：24人

仮会員参加数：3人

平成20年度一般検査研修会第一回は、『一般検査基礎講座1 尿定性検査の基礎』として、和光純薬工業株式会社の松田英子氏に講義していただきました。予想を超える出席者にうれしい悲鳴でした。

定性検査は試験紙があれば、誰もがいつでもおこなえるお手軽な検査ですが、反面、薬剤の影響を受ける項目や、ピットフォールも多数ある検査法であり、これらの特性を理解して使用すれば、数分で血液検査並みの情報も得ることができることを教えていただきました。

最後にテスト問題が用意されており、自己の回答が正解かな？とドキドキしながらも、楽しく復習することができました。誰もが何時でも手軽に行える検査ですが、今回学んだ知識をもって日常検査にいかすことができれば良いと思いました。

最後に、会場であった京都保健衛生専門学校において「内陸地震に対する募金」を行いました。賛同していただいた参加者に深くお礼申し上げます。

（NTT西日本京都病院 吉岡 あさみ 記）

平成20年7月5日

報告者：佐伯 仁志（国立病院機構京都医療センター）

## ●●● 輸血 08-007

日時：平成20年7月5日土曜日 13:00～17:00

会場：京都保健衛生専門学校

主題：輸血検査実技講習会①

副題：ABO・Rho(D)血液型、不規則抗体スクリーニング、クロスマッチ

講師所属：オリンパス株式会社 ライフサイエンスカンパニー ダイアグノスティックシステムズ事業部 輸血事業推進室 学術チーム

講師名：小黑博之 他 輸血検査研究班運営委員

分類：専門—52—検体検査 20点

共催等：オリンパス株式会社、オーソ・クリニカル・ダイアグノスティックス株式会社

全体参加人数(スタッフ+参加者) 39+賛助会員 3人

京臨技会員参加人数：29人

会員参加人数 33人

仮会員参加人数 5人

非会員参加人数 1人

例年行っている実技講習会ですが、今年は参加者が31名と過去最大の規模となりましたが、今年は講義の部分を別枠として6月7日に「輸血検査に必要な基礎知識」という基礎勉強会を行ったため全体的に余裕ができた感じでした。

平成20年7月23日

報告者：相田幸雄（京都南病院）





## ●●● 輸血 08-008

日時：平成20年7月12日 土曜日 9:00～17:00

会場：京都保健衛生専門学校

主題：輸血検査実技講習会②

副題：ABO・Rho(D)血液型、不規則抗体スクリーニング、クロスマッチ、直接クームス試験、抗体解離試験(溶血性輸血副作用発生時の輸血検査)

講師所属：オリンパス株式会社 ライフサイエンスカンパニー ダイアグノスティックシステムズ事業部 輸血事業推進室 学術チーム

講師名：小黑博之 他 輸血検査研究班運営委員

分類：専門-52-検体検査 20点

共催等：オリンパス株式会社、オーソ・クリニカル・ダイアグノスティックス株式会社

全体参加人数(スタッフ+参加者) 36+賛助会員3人

京臨技会員参加人数：27人

会員参加人数 33人

仮会員参加人数 3人

非会員参加人数 0人

今年度は参加人数を例年より多くした為に、多くの方に実習を行っていただくことができました。輸血後に直接クームス試験が陽性になる検体を用意し、基本的な検査に加え直接クームス試験と抗体解離試験を行いました。

今回の実技講習も7月5日と同様に講義の部分が6月7日に「輸血検査に必要な基礎知識」という基礎勉強会を行ったためある程度省略できたので全体的に余裕ができた感じでした。

平成20年7月23日

報告者：相田幸雄（京都南病院）



### 岩手・宮城内陸地震義援金について

岩手・宮城内陸地震義援金の募集をホームページやメールマガジンで呼びかけるとともに、研修会会場に募金箱を設置して、みなさまにご協力をお願いしたところ、7,456円が集まりました。京臨技会計より30,000円余りを加えて、合計38,000円を日臨技へ送金いたしました。ご報告ならびにご協力の御礼とさせていただきます。

また、ユニセフ基金へも2万円送金を行っています。併せてご報告いたします。

### 精度管理の日程

10/30 サンプル配付

2/28 精度管理報告会(※)

※ 今年度は各分野の精度管理調査の結果をまとめた報告会を開催いたします。とくに技師長や主任クラスの検査部門の管理的立場の方は積極的にご参加ください。

平成20年度第1回定例理事会議事録

日時：平成20年6月19日(木) 18:30~20:30
場所：京都府臨床検査技師会 川端丸太町事務所
議長：今井
書記：林雅 議事録署名人：今井、白波瀬
出席顧問：田畑 出席監事：清井 出席日臨技理事：湯浅
出席理事：今井、芦田、石澤、白波瀬、荻野、小澤、林孝、青山、佐々木、高嶋、豊山、中村、西川、丹羽、林雅、早瀬、藤崎、山田
委任状出席：廣瀬

1. 【報告事項】

○今井会長報告

● 日臨技関係

5月29日~31日 平成20年定期総会出席(札幌ホテルニューオータニ)
委任状464人分提出
平成19年度事業・決算・監査報告
平成20,21年度代議員選任
日韓協定30年記念式典・日韓フォーラム出席

● 近畿技関係

6月11日(水) 近畿会長会議(PM1:30~)
近畿理事会(大臨技事務所) 今井、芦田、石澤、荻野、白波瀬 役割分担決定 他

● 京臨技関係

6月10日(火) 京臨技研究班班長・会計担当会議(PM6:30)
6月13日 京都府医療推進協議会第12回代表者会議 京都府医師会館(PM1:00~)
6月13日(金) 京臨技理事役割分担編成会議(PM6:30~)
6月14日(土) 血液研修会出席(PM2:00~)

○湯浅日臨技理事報告(別紙)

○芦田副会長報告

6月11日(水) 近畿理事会(大臨技事務所)

○石澤副会長報告

6月11日(水) 近畿理事会(大臨技事務所)

○白波瀬副会長報告

6月11日(水) 近畿理事会(大臨技事務所)

○荻野学術部長報告

5月28日:第35回くらしと健康展 第1回実行委員会(京都府医師会館)、日臨技も共催となる、京臨技は主催

6月10日:学術委員会(京臨技川端丸太町事務所)

6月11日(水) 近畿理事会(大臨技事務所)

近畿医学検査事務局より演題応募の依頼あり。

6月18日(水) 第35回くらしと健康展 第2回実行委員会(京都府医師会館)

○小澤総務部長報告

厚労省 サミットに関わる毒劇物管理の徹底についての依頼(別紙)

京都府 厚労省関係叙勲褒賞受賞候補の調査について(別紙)

公衆衛生事業功労者の日本公衆衛生協会会長表彰について(別紙)

医師会 微量採血のための穿刺器具の取り扱いについて くらしと健康展血糖検査での使用器具について京都府医師会へ報告(別紙)

兵庫臨技 近畿医学検査学会アンケートの会員施設への配布依頼を受けました。

京臨技役員の総合保険加入者名簿の変更しました

7月分の配布物発送予定 6月末 会報、会誌の印刷に合わせて発送します。

○豊山理事報告

6月3日 第43回京都病院学会 第5回実行委員会出席

6月8日 第43回京都病院学会開催 約1,100名の参加

2. 【委嘱・承認事項】

● 会員関連 新入会員、退会会員名簿別紙・・・承認
会員総数965名(6月17日現在)

正会員数873(うち新入会員65名(前月比+20))

当年度未入金会員 92名

仮会員72名(前月比+7)

● 糖尿病療養指導講習会

場所:キャンパスプラザ

日時:9月23日共催依頼・・・承認

3. 【検討議案】

1. 平成20・21年度京臨技理事役割分担について(今井 別紙)・・・承認

2. 精度管理事業(石澤)・・・継続

● 精度管理報告会について・・・継続

● 精度管理号を発行せず別媒体で施設へ送付する・・・承認

3. 会誌、行事予定表、研修会案内の内容、送付方法について・・・継続

送付は原則廃止してホームページ上の掲載に猶予期間をもって変更したい。施設、役員、研究班班長、希望者には猶予期間の中で送付を検討する。

4. 今年度定例理事会の日程について

原則 第2週の木曜日・・・承認

5. 『精度管理合同報告会または京都学会(仮題)』の準備委員会について(荻野)・・・継続

施設長連絡会議も合同で開催してはどうか

6. 災害義援金募金の件・・・承認

ホームページ上で募金をつのる。勉強会開催時に募金箱を置き募金をつのる。

7. O.B会を立ちあげについて(清井幹事)・・・承認

8. 京都府南部地域の学術勉強会の開催について・・・承認

9. 京臨技会員数を増やす為に地場検査センターを訪問し協力を要請したい・・・承認

早瀬理事を中心に活動を進める

次回理事会 7月10日(木)

会場:京臨技川端丸太町事務所

時間:6:30-8:30

## 平成20年度第2回定例理事会議事録

日時：平成20年7月10日(木) 18:30~20:30  
 場所：京都府臨床検査技師会 川端丸太町事務所  
 議長：今井  
 書記：林雅 議事録署名人：今井、白波瀬  
 出席顧問：田畑  
 出席日臨技理事：湯浅  
 出席理事：今井、芦田、石澤、白波瀬、荻野、小澤、林孝、青山、佐々木、高嶋、豊山、中村、西川、林雅、早瀬、廣瀬、藤崎、山田  
 委任状出席：丹羽

## 1. 【報告事項】

○今井会長報告

● 日臨技関係

20年度地区・都道府県会長会議 日臨技会館 7月12日(土)  
 P m2:00~5:00

- ・今年度行事進捗状況について
- ・新公益社団法人認定に向けてのとりくみについて→地区技師会の支部化

● その他

日臨技全国研修会移植免疫部門の清算が終了した。

● 近畿技関係

近畿会長会議 京臨技丸太町事務所 7月6日(日) Am10:00~4:00

- ・2008年度仏語圏アフリカ臨床検査技術関係
- ・地区技師会(近畿技師会)支部化について

● 京臨技関係

第49回近畿医学検査学会準備委員会 7月3日(木) P m6:30~9:00

- ・役員編成(実行委員会候補選出)
- ・会場「みやこめッセ」見積・見取り図の提示
- ・メインテーマ
- ・タイムスケジュール
- ・その他

公益法人説明会 7月24日 京都テルサにて説明会出席予定  
 プロモーション委員会 大阪にて出席予定

○湯浅日臨技理事 別紙報告

○芦田副会長報告

7月9日(水) 医師会会館にて、京都府院内感染対策支援部会  
 に出席

○白波瀬副会長報告

会報 No6 発行しました。

○小澤総務部長報告

・7月24日新公益法人制度説明会(京都府主催)  
 京臨技からの参加予定者：今井、湯浅、中村、山方  
 ・岩手・宮城内陸地震義援金 7月8日現在1955円集まりました

・8月分の配布物発送予定 7月23日(水)

○豊山理事報告

7/1 第43回京都病院学会反省会 出席

○清井顧問報告

6月26日日本パプテスト病院検査室訪問しました。(清井・中村)

○早瀬理事

技師会への入会勧誘に日本医学臨床検査研究所、京都微生物研究所、ファルコバイオシステムズ、日本セルネットを訪問しました。

○西川理事

京都府糖尿病協会顧問・理事会出席報告 kamt-riji 配信済み

## 2. 【委嘱・承認事項】

- ・ 会員関連 新入会員、退会会員名簿別紙・・・・・・承認  
 会員総数966名(7月8日現在)  
 正会員数881名(うち新入会員69名)  
 当年度未入金会員 85名

- ・ 病理研究班からの他府県合同研修会共催申請  
 他府県との合同研修会で演者に非会員の技師が含まれており共催を認めるかどうか検討。  
 他府県との合同開催の場合は会長が調整行う・・・・承認
- ・ 京都保健衛生専門学校より施設見学、講師派遣の依頼 別紙・・・・・・承認

## 3. 【検討議案】

1. 第10回新入転入会員研修会・・・・継続

日時：2008年09月5日(金曜日) 受付(17:30) 18:00~21:00

場所：京都教育文化センター 302号室

内容：1. 気軽な内容の講演&lt;現在の候補&gt;

芦田副会長が感染対策支援事業としての各病院訪問を技師&技師会の活動として紹介していただく。

2. 「会の組織・運営などの説明」(総務部長)

3. 「学術活動について」(学術部長)

4. 懇親会(クイズで研究班・京臨技を知ってもらおう)  
 参加のお願い：例年通り 理事・班長全員出席でおねがいします。

会長・副会長には挨拶の準備を総務部長・学術部長は説明準備(資料込み)をお願いします。

事務局にお願いしたいもの

1. 対象者リスト作成

2. 対象者・施設担当者に案内状送付(案内状は林作成)

8月理事会でお願いしたいこと リストを参考に参加要請

2. 京都医療推進協議会 担当理事：林(孝)、廣瀬、高嶋

・イベント1の企画について・・・・継続

日時：10/19(日)

場所：みやこめッセ

全体テーマ：次回会議

京臨技イベント案 体験：ABI、血糖

臨床検査啓蒙：輸血検査、食中毒検査、AIDS 検査、検査相談など

検査相談パネル展示で開催する。出務者、内容について・・・・継続

・イベント2の案内について・・・・承認

日時：11/2(日) 内容：講演会(動員要請がある模様) 後日の参加依頼を周知する

3. 生理検査研究班 9/13日の実技講習会を参加者が多いため特別に有料で実施したい。

会員500円・・・・承認

4. 第35回くらしと健康展の出務者について・・・・継続

1日につき、生理研究班から6名血糖検査関係の技師を6名・プラス2名の確保を考えています。

この取組は生涯教育の対象として、昨年から実施いたしました。京臨技会員からの事前登録にて協力者を募ります。

13日 芦田・山田・青山・白波瀬・佐々木

14日 芦田・早瀬

現在の出席確認理事

5. 精度管理報告会について

8月の理事会にたたき台を石澤理事が提出・・・・継続

6. 会誌、行事予定表、研修会案内の内容、送付方法について  
 7月行事予定表とともに全会員へ「資料配送の一部停止のご案内」を送付し周知を開始した。

8月、9月までは全会員へ資料は配送し、その後は希望者への配送としたい。

・10月分以後の配送対象

行事予定表：配送希望の一般会員

施設連絡責任者、京臨技役員(理事、顧問、班長、副班長、班会計)

総会案内、会誌、会報：全会員へ配送

次回理事会 8月7日(木)

会場：京臨技川端丸太町事務所